

(別紙3)

		公表		事業所における自己評価総括表	
○事業所名	リズム木曽呂Ⅱ 放課後等デイサービス				
○保護者評価実施期間	2026年9月1日 ～ 2026年9月30日				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	14名	
○従業者評価実施期間	2026年9月1日 ～ 2026年9月30日				
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	3名	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年10月9日				
○ 分析結果					

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動を中心とした活動を取り入れながら、 集団療育を行っている。	公園に行ったり歩行をして体を動かす活動を多く取り入れている。また、室内でもサーキット運動やダンスなどを行っている。個としても集団としても充実できるような活動を提供している。	同じ活動でも少しルールを変えるなど、アレンジを加えながら飽きが来ないように工夫している。
2	生活空間が清潔で、心地よく過ごせる空間になっている。 また、子どもたちの活動に合わせた空間になっている。	掃除・片付け・消毒を毎日しっかり行っている。また、活動に合わせた事前準備や環境整備をしている。	毎日の清掃では手が届かない場所も、定期的に時間を設けて清掃していく。
3	日ごろからお子様の状況を保護者様と伝えあい、 健康状態や発達状況について共通理解ができている。	毎日のミーティングの中で振り返りを行い、職員間で共有している。必要に応じて、保護者様にお伝えすることやお伺いする内容の確認もしている。	利用者様の様子を記録し、いつでも振り返りができるようにしていく。職員間での連携もより密にしていく。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎時や面談以外での保護者様との交流が少ない。	デイの活動の様子を保護者様に見てもらう機会が設けられていない。	保護者参観や保護者交流会を企画し、保護者様同士の横のつながりや、職員と保護者様との関係をさらに密にしていく。
2	放課後等児童クラブ・児童館との交流や、地域の子どもたちとの交流の機会が少ない。	活動を考える中で、機会を設ける意識が低かった。 また、おでかけの機会も少なくなっていた。	公園活動の際に地域の子どもたちとの交流も図っていく。 また、おでかけの機会を増やし、児童館などへの訪問の機会も増やして行く。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 木曽呂Ⅱ 放課後等デイサービス

公表日 2026年 10月 日

利用児童数 20名

回収数 14名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	0	いつも綺麗に整頓されていると思います	引き続き、ご利用者様が活動しやすいよう環境整備を行ってまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2	0	1		1日4名（または5名）の職員を配置し、安全に配慮した活動を行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	1		デイフロア内は段差もなく、デイ部屋・運動場・静養室を活動や利用者様の状態によって使い分けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	0		
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	1		定期的に研修を受講するなど、支援の質や専門性の向上に取り組んでいます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1	0	1	放課後デイサービス支援計画がわからないので…	放課後デイサービス支援計画は皆様にお配りしている個別支援計画書です。計画書に沿って支援をしております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどものこともと活動する機会がありますか。	2	4	3	5		直接的な交流の場は設けておりませんが、児童館や公園などの活動を通して交流を図っています。
保護 者へ の説 明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	2	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	1	4		今後、そういったご家族参加の機会がある際には、ご報告させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1	1	0		送迎時や連絡帳を活用し、こどもの健康や状況を共有できるよう強化して行きます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	2	0	0	子供のことはよく見ていただいていますし、安心してお願いしていますが、人がよく変わるなあという印象はあります。前の慣れた方から、子供のことを引き継いでいるのか？と思うことはあります。	人員が変わる際には引継ぎを行い、ご利用者様の状態や様子に関しても事前に共有していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	6	3	保護者同士の交流はないですが、特にそれを不満にも思っていないです。児童発達支援でお世話になっていた時に参加した保護者会は、行って良かったと思えたので、もし希望される方がいて、開催されるなら参加したいです。	保護者様のニーズを伺いながら、交流の場などを企画していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	0	1		お話をいただいた際には、会社全体で迅速かつ適切に対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	2	0	1		通信にて活動や行事の様子をお伝えしています。また、ホームページなどで業務における自己評価の結果も公開しておりますので、ご確認ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1	0	1		個人情報の取扱いについてはご契約時に確認いただきました範囲での使用になるよう徹底しております。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	4		各種対応マニュアルは事業所内に掲示しております。保護者の皆様にも分かりやすく周知できるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	2		年に2回、防災備品のチェックや避難訓練等を行っています。通信等でもお知らせしておりますので、ご確認ください。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1	0	1		事故等が発生した際には、マニュアルに沿って迅速に対応・説明をさせていただきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13	1	0	0	大好きな場所です。	今後も安心感をもって通所していただけるよう努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	2	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0	いつも暖かく見守って支援して頂いてるのが凄く伝わり感謝でいっぱいです。 夏休みの際、昨年や一昨年はお出掛けのイベントがもっと多かったように思います。 スキップシティや駒場のさいたま市少年宇宙博物館に連れて行っていただいて、本当にありがたかったです。 プールや室内の遊びももちろん楽しんでいるようですし、活動内容に不満があるわけではないのですが、今年は難しかった理由があるのなら教えて欲しいです。 いつもありがとうございます。	職員の異動に伴い、子どもたちの安全面を考慮し、活動を限られた範囲に制限しておりました。次の長期休みに備え、今後は子どもたちが安心しておでかけ出来る機会を少しずつ準備して進めたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		木曽呂Ⅱ 放課後等デイサービス			公表日	令和8年10月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	机の向きを工夫し、人数が多い日も集中しやすい環境を整えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	0	3	個別支援にも対応できるよう、安全面を考慮した活動を計画し、行っている。	個別支援が必要なこどもに対して人手が不足し、常勤職員の確保が必要。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	ホワイトボードで当日の活動を見えるようにし、見通しを持たせている。	トイレ数が少ないため、利用方法の工夫が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	状況に応じて職員間で連携を取りながら、安全に配慮して個別の部屋を利用できるような支援を行っている。	人手が少ない時間も安全に個別対応できる方法を整える必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0	会議の中で、短時間でも情報を共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	定期的に職員の意見を確認し、連携している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	毎日のミーティングの中で、その日の活動を話し合って決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		学校との連携を強化していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	0		

基本	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	公園への外出を通じ、地域の人と接する機会を設けている。	地域のこどもと交流する機会を増やす必要。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1	お話を頂いた際には積極的に参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	3	今後、研修等があれば案内していく。	家族支援の実施状況を職員へ共有し、機会を充実させる必要。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	定期的にケース会議を行い、支援の質の向上に取り組んでいる。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	2		保護者様のニーズを伺いながら、交流の場などを企画していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	個人情報の取扱いについてはご契約時に確認いただいた範囲での使用になるよう徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3		招待する機会を作っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	業務継続計画に基づく訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0		